

あなたの歯ブラシは傷んで（開いて）いませんか？

毛先の傷んだ（開いた）歯ブラシでは、ブラッシングの効率が悪くなります

毛先の開いた歯ブラシVS新しい歯ブラシ！

最近の調査結果から、年間の1人平均の歯ブラシ使用本数は全国平均約3本であることがわかりました。つまり、1本の歯ブラシを平均で4ヶ月くらい使っているといえます。

そこで、「毛先の開いた歯ブラシを使っていると汚れ落ちはどのようになるのか」という実験をした結果を紹介したいと思います。

●実験対象者：120名

●実験用歯ブラシ

●実験方法：

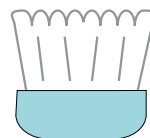
歯磨き前後の汚れ状態の変化を観察して、歯ブラシA・B・Cそれぞれの歯垢除去効果を調べる。

歯ブラシA



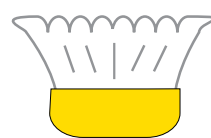
新しい歯ブラシ

歯ブラシB



そろそろ取り替え時期の毛先が少し開いた歯ブラシ

歯ブラシC



取り替え時期をすぎた毛先の開いた歯ブラシ

歯ブラシの痛み具合による歯垢除去の違い

新しい歯ブラシ（歯ブラシA）での歯垢除去率を100とすると、毛先が少し開いた歯ブラシ（歯ブラシB）は汚れ落ちが約20%悪くなり、毛先の開いた歯ブラシ（歯ブラシC）はさらに20%悪くなります。

同じように正しい方法でブラッシングしていても、新しい歯ブラシと毛先の開いた歯ブラシでは、こんなに歯垢の除去が違います。つまり毛先の傷んだ歯ブラシは、ブラッシング効率が悪くなるということです。

より効果的なブラッシングをするためには、歯ブラシの毛先が開きはじめたら、新しい歯ブラシに取り替えましょう。目安は1ヶ月です。

